

「伊賀・山城南・東大和定住自立圏シンポジウム ～水と歴史でつながる圏域～」の開催について

【目 的】

2016（平成28）年10月に伊賀・山城南定住自立圏を形成し、翌年6月に策定した共生ビジョンに基づき、伊賀市、笠置町、南山城村の3市町村で様々な連携事業に取り組んできました。

そして、2019（令和元）年10月に山添村が加わり、圏域名称を「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」と改め、3府県かつ関西圏と東海圏のブロックをまたぐという全国的にも例のない定住自立圏が形成されました。

今後さらに進行する人口減少や少子高齢化に対応し、住民の皆さんが幸せを実感できるような圏域を創るためにシンポジウムを開催します。

【主 催】伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会
（三重県伊賀市、京都府笠置町、京都府南山城村、奈良県山添村）

【開催日時】2020（令和2）年2月23日（日・祝） 午後1時30分から

【場 所】山添村ふれあいホール
（奈良県山辺郡山添村大字大西1367 ふるさとセンター内）

【内 容】

第1部 「定住自立圏構想について」

講師：総務省地域力創造グループ地域自立応援課長 角田 秀夫

「伊賀・山城南・東大和定住自立圏について」

説明：伊賀市企画振興部長 宮崎 寿

第2部 パネルディスカッション「魅力ある圏域を創るために」

コーディネーター：伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会
会長 久 隆浩（近畿大学総合社会学部教授）

パネリスト：圏域市町村長

（伊賀市長、笠置町長、南山城村長、山添村長）

内容：・定住自立圏に期待すること

・定住自立圏に加わった経緯や思い

・3府県をまたぐ圏域としての特徴をどう生かすか